



令和4年12月13日(火) 晴 No. 21



▲会長挨拶



▲濱田ガバナー補佐挨拶



▲大庫会員の卓話

会長の時間

会長 芝本 忠雄

皆様、こんにちは。

師走も中旬を迎え、何かとバタバタと慌ただしい年の瀬を過ごされているのではと思います。朝晩の冷え込みには、特に気を付けて戴きたいと思います。

今年の冬至は22日ということですが、冬至と言えば、「かぼちゃ」と「柚子湯」。ただ、この習慣も地域によって異なっているようです。

かぼちゃを食べるのは、江戸時代の文献にはなく、明治以降の新しい習慣のようです。これから寒くなるという節目にカロチンやビタミン各種、食物繊維をたっぷり含んだかぼちゃを味わって栄養を付けようということらしいです。

柚子湯は江戸時代より始まった習慣らしく、「冬至」と「湯治」を掛け合わせ、「柚子」と「融通」より体が温まり、丈夫になるということで、江戸のお風呂屋さんが企画したようです。柚子果皮には、風邪予防や保温にいいとされるビタミンCや血行改善を促すフラボノイドという成分が豊富に含まれており、理に合っているようです。

「かぼちゃ」と「柚子湯」を冬至に試してみてください。

さて、本日は地区ガバナー補佐の高砂清松ロータリークラブの濱田様、随員員の森本様をお迎えしております。濱田ガバナー補佐は、地区の職業奉仕委員会のメンバーでもあり、先日11月27日、東播第一グループ、第二グループ、第三グループの職業奉仕公開セミナーをご当地加古川プラザホテルにて開催されました。今日はその時のお話もお聞かせ戴けるのではないかと思います。

本日の卓話ですが、プログラム委員長であります大庫会員の登場です。多趣味の大庫さんのトークをお楽しみ戴きたいと思います。

これで会長の時間を終わらせて戴きます。本日もよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

- BOX にインフォーマルミーティングのご案内を入れております。例会受付備忘録にご出欠をご記入下さいますようお願いいたします。
- ☆他クラブニュース
例会変更のお知らせ
高砂青松RC ◇1月 4日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
◇1月18日(水)→1月21日(土) 新年家族例会
於;加古川プラザホテル
◇1月25日(水)→1月28日(土) 東播第2グループI. M.
於;ウエディングパレス鹿島殿
加古川中央RC ◇1月26日(木)→午後1時～ 職場例会
於;加古川市防災センター
◇1月28日(土)→東播第2グループI. M. 午後3時～
於;ウエディングパレス鹿島殿
◇2月 2日(木)→例会変更 1月28日(土)に振替
- 次週12月20日(火)の例会は年末家族例会に例会に例会変更のため、ありません。年末家族例会は17日(土)午後6時～、場所は加古川プラザホテル2階です。また、27日(火)は例会と取りやめとなっておりますので、この例会場での今年の例会は本日で終わりです。新年例会は1月10日(火)です。(1月3日例会取りやめ)

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|---|
| 省 | 略 | 😊 | ご挨拶として多額のニコニコを頂いております。 |
| 省 | 略 | 😊 | 本日お世話になります。宜しくお願い致します。 |
| 省 | 略 | 😊 | 濱田ガバー補佐、随行者森本様をお迎えした喜び |
| 省 | 略 | 😊 | 大庫会員、本日の卓話よろしくお祈いします。 |
| 省 | 略 | 😊 | ガバナー補佐の濱田様、随行者の森本様、ようこそ加古川RC
へ。 |
| 省 | 略 | 😊 | 鉄道開業と貨幣事情の関係がよくわかりません。卓話楽しみです。 |
| 省 | 略 | 😊 | 大庫会員、本日の卓話楽しみです。 |
| 省 | 略 | 😊 | 鉄道の歴史は建設業とも深い縁があります。大庫さん卓話楽
しみにしております。 |
| 省 | 略 | 😊 | 写真たくさん頂きました。ありがとうございました！ |
| 省 | 略 | 😊 | テーブルの花いただきます。 |

以上10件 ¥18,000-
本年度累計¥1,068,000-

出席委員会

- | | | | | | | |
|-----|---|----------|----------|-----------|-----------|---------|
| ☆ 今 | 週 | 会員数 71 名 | 出席 40 名 | 出席免除 13 名 | 欠席 18 名 | |
| ☆ 欠 | 席 | 者 | 省略 | | | |
| ☆ 前 | 々 | 週 | 会員数 71 名 | 出席 35 名 | 出席免除 16 名 | 欠席 20 名 |

- ☆ ゲ ス ト 東播第2グループガバナー補佐 濱田 喜重氏
 随行者 森本 匡裕氏(高砂青松RC)
- ☆ メークアップ 2023-24 年度補助金管理セミナー 12/11 吉田

親睦活動委員会

- 例会場当番
 12月17日(土) 衣笠、中尾
 1月10日(火) 富田、中原



プログラム委員会

本日12月13日(火)	12月20日(火)	12月27日(火)	1月3日(火)
卓話 「明治初年の貨幣事情、 祝鉄道開業150年」 大庫担当	例会変更 (日時・場所変更) 年末家族例会 17日(土)午後6時～ 於;加古川プラザホテル ロータリー家族委員会担当	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)]	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)(1)]

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

2022 年 12 月 By Brad Webber7

米国

コンウェイ・モーニング・ロータリークラブ(アーカンソー州)は、州の里親制度下にあるすべての子どもたちに誕生日のメッセージを届けることを目指しています。1月から9月までで、2,100枚以上の誕生日カードが郵送されました。年間で3,700人に届けられる見込みです。「子どもたちはこれまでの人生で辛い思いや不安な思いを体験してきました。ですが、特別な1日を毎年祝ってもらえて、周りの人から本当に大事に思ってもらえているんだと実感できることで、この先生きていく希望も生まれるはずだと私は強く思うのです」と、このキャンペーンを立ちあげた同クラブ会員のマイク・アルトランドさんは言います。Arkansas Division of Children and Family Services(アーカンソー州児童家庭サービス)と、教会と協力して子どもと里親のマッチングを行うアーカンソー州のNPOであるThe Callと連携して、十何人のロータリアン・ボランティアが誕生日カードの作成と送付を行っています。この地域に工場を有するAmerican Greetingsが提供したカードと封筒は、2年分はあるだろうとアルトランドさんは予想しています。



65億
 米国で年間販売されているグリーティングカードの数

メキシコ

グアダラハラ・インターナショナル・ロータリークラブは、貧しい地域出身の女子を対象に韓国の格闘技テコンドーの訓練を3月に開始しました。「Reconoce Tu Poder(自分の力を認識しよう)プログラムで、何十人もの女子が訓練を受けました」と同クラブの前会長であるクリエーターのバーサ・サンチェス・ガルシアさんは言います。テコンドー茶帯のサンチェス・ガルシアさんとグアダラハラ・ロータリークラブ会員のスレマ・フェルナンデス・サリニャーナさんは、メキシコ随一の女性テコンドー選手でオリンピック出場経験のあ



るパトリア・マリスカル・アルカラさんの力を借りて、マニュアルとトレーニングプログラムを開発しました。「プログラムを修了したときには、すべての女子が、板を蹴って打ち破って、障害物を倒す力が自分にはあるのだと自覚するようになります」とサンチェス・ガルシアさん。この取りくみは他の2つの町と、さらにインドでも他のロータリークラブによって行われています。

8位
オリンピックのテコンドー競技メダル獲得数におけるメキシコの成績

ドイツ



ローゼンハイム・インシュタット・ロータリークラブが実施したプロジェクトは、ごく素朴な贈り物が子どもたちに喜びをもたらし、贈答者にも喜びをもたらすことができることを教えてくれます。過去5年間、同クラブは会員から寄付を募り、クリスマスプレゼントを購入するために毎年約1,500米ドルを集めてきました。2021年の遠出で33人の子どもたちに届けられたギフトには、おもちゃや衣類が入っていました。「子どもの願い

事リストに載っているようなものは何でも、です」とクラブの前会長ハンス・ゲオルグ・シュミットさんは言います。現地の援助団体が受取人を選定しました。「ある女の子はスカートが欲しがっていました。スカートを買う余裕は一家にはなかったのです」とシュミットさんは言います。別の女の子は念願の香水を手に入れました。12人の同クラブ会員が買い出しと包装、配達を手配しました。

522ユーロ
2021年、ドイツで1人あたりのクリスマス平均費用は約500米ドル

イタリア

欧州連合では毎年最大1億6900万トンの未使用食品が浪費されており、手をつけていない食べ物をレストランから持ち帰るイタリア人は約40パーセントのみです。アックイテル



メ・ロータリークラブは、ピエモンテ州の農業食糧局と協力して、4月にciapa e porta a cà（残飯を持ち帰ろう）プロジェクトを開始しました。レストランやB&B、それに農家に、リサイクル可能で堆肥化可能な箱やワインバッグを提供しています。同クラブ前会長のジャコモ・ゲリーナさんは、食品の

17%
米国における埋立てゴミのうち、レストランからの食品廃棄物の割合

廃棄物を減らし、地元の農家が生産する高品質の食品の良さを知ってもらおうとホスピタリティ業界の人びとに働きかけていると説明します。

インド

2018年のモンスーンシーズンで第3201地区の活動に感銘を受けたムンバイのテクノロジー会社のAtos Global IT Solutions and Servicesは、ロータリー会員と協力して企業の社会的責任を果たすプロジェクトを実施することを決定。二つのグローバル補助金プロジェクトに30万ドル近く寄付しました。そのうち約25万ドルは、2018-19年度にコーチ(旧コーチン)にある八つのロー



ータリークラブが参加したプロジェクトで、126人の亡命者を収容するための31軒の安価シェルターを建設するのに費やされました。ケーララ州では、25基の浄水場の設置を支援するための第2の補助金プロジェクトが進行中です。「インドのロータリーは、ボランティアベースのため運営コストがないも同然か最小限に抑えられているため、提携相手として最適だったのです」と、同社でシニアバイスプレジデントを務めるナシル・シェイクさんは言います。住宅補助金のコーディネーターであり、コーチン・ミッドタウン・ロータリークラブの元会長で現コーチン・タイタンズ・ロータリークラブ会員のダモダラン・ヴェラヌールさんは、このプロジェクトで建てた14坪の住宅を「持続可能で見事な人道的プロジェクト」だとして称賛しています。

この記事は、Rotary 誌の2022年12月号に掲載されました。